

二周め 令和五年

森野 水琴

令和五年一月

年が明けて、新たな気持ちで書き続けていくつもりである。

とはいえ、スタートダッシュが激しすぎたようで、一月十五日のジョギング後に発熱、吐き気もするので、安静にしていた。翌日は平熱に戻り、コロナは陰性で、ひと安心した。

これを機会に、生き急がず、書き急がないことにした。

一月十八日は皇居で行われる歌会始をテレビ鑑賞した。今年のお題は「友」。応募作は落選したが、「琴線 令和五年」に載せている。

来年のお題は「和」。早速詠んで、毛筆の練習に励んでいる。

令和五年四月

年金暮らしも三年めに突入した。予想通り、ゆっくり過ぎていった一年めに比べ、速く過ぎていった二年めであった。

書き急がず、のんびりしていたら、拙作を含めて三作品の最終更新から七十五日経過したとの励ましのメールが届いた。

まとめて更新して、のんびりすることとしよう。

令和五年六月

四月に佐渡ヶ島ときマラソンを完走したものの、今月の隠岐の島ウルトラマラソンは四十八キロ地点で転倒。四百メートル先の関門には間に合ったものの、救護で応急処置をしてもらった。気温も例年よりも高く、転倒再発を防ぐためにリタイアした。

熱中症対策しながら練習することにする。

令和五年七月

猛暑のせいで朝のジョギングも十キロ程度にとどめている。

次のレースは九月下旬の網走マラソン。

十二月の奈良マラソンを申し込もうとしたら、久しぶりにアクセス殺到のため待機画面。少し待たされたが何とかエントリーできた。五百円追加すればゼッケンにニックネームを書いてくれるというので「すいきん」と書いてもらうことにした。嬉しくてジョギングの励みになる。

令和五年九月

網走マラソンを完走し、フランス語の授業やら書道のレッスンにいそしんでいたが、発熱して病院で検査してもらったらインフルエンザに感染していた。二日間ほとんど寝ていたら熱も下がり五日間の自宅待機で済みそうである。良い充電期間にして力を蓄えておきたい。

令和五年十一月

奈良マラソンが近づいてきた。毎年参加しているとはいえ、着実に年齢よわいを重ね、スピードも落ちてきている。少しでも維持しようと練習しているようなものである。練習しなければ落ちる一方だろう。

フランス語の来年の二次試験に辞書無しでフランス語から日本語に訳す問が出る。少しでもフランス語の単語を覚えたいところである。

マラソンもフランス語も、一朝一夕でレベルアップするわけではなく、日々の地道な努力が必要になってくる。